

SEASONAL NEWS 季報 ポンプ & クラシックス！ POMP and CLASSICS!

CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 2013年7月31日発行 第1号 (季刊・毎年1、4、7、10月発行)
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-21-16-402 TEL 03-5719-7601 FAX 03-5719-7603 E-mail info@classic.or.jp http://www.classic.or.jp/



ご挨拶～新広報紙の発刊にあたって～

会長 関田正幸

この4月、日本クラシック音楽事業協会は、公益法人制度改革により「一般社団法人」へと移行し、新たな定款のもとで、次の発展へと新しい一歩を踏み出しました。振り返りますと、昭和23年、協会の前身である「音楽マネージャークラブ」が発足してから65周年を迎えます。

この間、個人事業主の「マネージャー」のみの組織を、劇場、コンサートホール、演奏・創造団体、音楽教育機関、マスメディアなどクラシック音楽に係わる殆どの業種を集めた「音楽マネジメント」、「音楽事業社」の組織へと発展させ、今に至っております。

今日、わが国は世界有数の音楽市場をもつ「音楽大国」になりました。これには「世界の素晴らしい音楽を日本の観客に届けたい」「日本の音楽家を育て、その活動を広げたい」と願う、我々クラシック音楽に携わってきた者の果たしてきた役割が大変大きかったと思っております。

最近、文化芸術振興基本法や、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律なども制定され、わが国でもようやく音楽文化を振興する法的整備が出来ました。世界に誇る劇場、コンサートホールに加えて、このような法的裏付けが出来た事は大変喜ばしいことですが、これらのハードと、法律を運用する音楽関係者の努力、即ちソフト面での強化が無くては、本物の「文化立国」にはなりません。

従いまして、私どもは、クラシック音楽に関わる全ての関係者の足並みを揃え、人類の大切な財産であるクラシック音楽の普及、発展のため、今まで以上に努力をしまいたいと決意を新たにしております。

本広報紙をお読み下さるすべてのみなさまの協会活動へのご理解と、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

■対談「心の復興音楽基金」の支援による活動紹介

～宮城県七ヶ浜町でのアウトリーチとワークショップ～



左から：福田成康副会長、仲道郁代理事

仲道郁代理事（ピアニスト）に福田成康副会長（東音企画代表取締役社長／ピティナ専務理事）がお話を伺いました。

福田 演奏や指導でご活躍されている中、年間約20校に上る小学校で音楽ワークショップをなさっているそうですね。なぜここまで力を入れて取り組んでいらっしゃるのでしょうか？

仲道 社会の中で音楽がいかに必要なものであるかを示し、未来のクラシック愛好家を増やしていくために、音楽ワークショップに大きな可能性を感じているからです。以前から数々のアウトリーチコンサートはしていましたが、「次につなげられた」という確信を得られずにいたところ、2012年にテレビ番組の依頼で渡ったイギリスで音楽を使った創作ワークショップに出会い、感銘を受けました。現在は鑑賞型コンサートと音楽創作ワークショップの2本立てで行っています。各地のホールでの公演の前日や翌日に、教育委員会等の予算で近隣の学校で実施することが多いですね。

福田 中でも宮城県七ヶ浜町の小学校では、2012年から2017年までの6年連続でのアウトリーチを計画・実施されていますね。ボランティアでなさっていましたが、今年はクラシック音楽事業協会「心の復興音楽基金」助成事業に採択され、ワークショップの際に子どもたちの輪に入りアイデアを引き出す案内役「ファシリテーター」を公募されました。

仲道 東日本大震災で大きな被害を受けた七ヶ浜町は、七ヶ浜国際村開館以来20年にわたり毎年公演で伺っている、私にとってとても大切な場所です。震災後何かしないではいられず、震災のときに小学生だった子どもたちが一度は参加できるよう、6年連続での実施を決めました。

ワークショップの際は、地元の大学生やホール関係者の皆様に「ファシリ

テーター」として子どもたちの輪に加わっていただいています。ファシリテーターの存在は、近年重要視されてきており、この経験は今後も分野を問わず生かすことができるはずです。ファシリテーターの意義を社会に示していくためにも、彼らには必ず謝礼をお支払いしてご協力いただいています。音楽を使って行う「良い事」が、ボランティアでなされるべきという形で定着してほしくないのです。

福田 子どもたちが豊かな音楽体験ができるだけでなく、ファシリテーターの人材育成も兼ねているということですね。今後音楽の必要性を示し、音楽人口を増やしていくためには、何が大切になってくるのでしょうか。

仲道 音楽ワークショップの第一人者であるマイケル・スペンサー氏は、「音楽ワークショップは、クリエイティブで、イメージ豊かで、革新的な人材を育てることができる」とおっしゃっています。今まさに学校教育で足りないと言われている部分を、クラシック音楽で満たすことができるのです。これこそが、音楽にできることの「価値」の一つだと思うのです。

もちろん、すぐにホールの集客につながるほど、効果が簡単に目に見えるものではありません。ただ、ワークショップで音楽のもつ力にふれた人たちは、多かれ少なかれ必ずクラシックに興味を持ち、自分の中にまかれた種を育てていくと確信しています。

音楽の素晴らしさを示すことに近道はありません。とにかく地道に続けていくことが大切だと思っています。

7月1日に実施した宮城県多賀城市での活動の様子。



浮世絵でイメージを膨らませて、ドビュッシー「雨の庭」を鑑賞



「未来の多賀城」をテーマに音楽づくり

Topics

JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2013 vol.2

～未来を担う若人を本物のコンサートに！ 11月～12月に開催決定
2011年よりスタートした新たなクラシック音楽の普及活動「JAPAN CLASSIC FESTIVAL(略称JCF)」が今年も晩秋の11月～12月にかけて全国にて開催されます。子供達をコンサートに無料でご招待するこの企画、観客の高齢化が世界的に危惧されているクラシックコンサート界で、未来を担う若者に本物の感動体験をプレゼントします。2011年は106公演 約1,000名、2013年vol.1では109公演約1,250名の青少年を招待することが出来ました。このフェスティバルの特徴は、様々なジャンルのクラシック公演を子供達が自分自身で選んで応募出来る事。今年も各コンサート会場で青少年の笑顔が溢れる事でしょう。皆様、是非ご期待下さい。

シンポジウム&会員研修会を開催します!!

一般社団法人への移行を機に、今年度より研修会等の人材育成事業を積極的に展開する事になりました。シンポジウムは、本協会の事業を対外的にも認識してもらう機会になればと考えており、公文協などにも協力を仰ぎ年に1回は開催する予定です。今年度は今後の動向が注目されている「通称:劇場法」に焦点をあて、来年の2月に開催を計画しています。一方、研修会は、特に会員各社のスタッフの実務に有用なテーマを選び、有識者を講師に招いた勉強会です。今年度のテーマは、会員各社からのアンケートによりリクエストの多かった「助成金研究」と「メディア対応」を選定しました。開催の詳細については後日、会員メール配信ネットワーク等でお知らせ致します。是非ご参加下さい。

- 第1回会員研修会 「各種助成金の活用策研究&作成講座(仮称)」
2013年9月9～12日の期間で日時調整中 参加費は無料です。
- 第2回会員研修会 「クラシック音楽界はメディアとどう向き合うか(仮称)」
2014年3月12日(水)時間は調整中 参加費は無料です。

JAPAN CLASSIC FESTIVAL

クラシックのない人生なんて!

●書籍好評販売中!

音楽とともに働きたい人の必携書!!

「クラシック・コンサート制作の基礎知識」好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価 2,100円(税込・送料別)

お申込み・お問合わせは事務局まで。

発行 株式会社ヤマハミュージックメディア

制作 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



読売日本交響楽団打楽器奏者

西久保友広

マリンバ・リサイタル

ゲスト:菅原 淳(マリンバ)/萱谷亮一(パーカッション)

2013.11/22(金) (18:30開場)
19:00開演

トッパンホール

¥4,000 (全席指定・消費税込)

PROGRAM 権代敦彦/木霊 [共演:菅原 淳]

三木 聡/マリンバ・スピリチュアル(デュオ・バージョン) [共演:萱谷 亮一] ほか

チケット取扱い

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:206-790] トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

制作・お問合せ 株式会社1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>



昨年のデビュー盤の好評につき、
水野由紀 2nd CDが2013年11月にリリース予定!

Octavia Records Inc.

2nd CD発売記念

水野由紀 チェロ・リサイタル

ピアノ:干野宜大

2013.12/13(金) 19:00開演 (18:30開場)

Jアートホール アフィニス

¥3,500 (全席指定・消費税込) ※9月発売予定

Program

ショパン:序奏と華麗なるポロネーズ ハ長調 op.3
ほか 同CD収録曲など

©Shingo Azumaya

制作・お問合せ 株式会社1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

4月1日 一般社団法人への移行設立登記が完了

4月16日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業登録アーティストプレゼンテーション

(財)地域創造の上記事業に、協会は制作協力として参画しています。津田ホールにて7組のアーティストが演奏・トークによるプレゼンテーションを行い、今年度の実施ホール18館への派遣先が後日決定しました。

4月22日 書籍「クラシック音楽事業ガイド2013」4年ぶりの復刊

協会の会員情報、アーティスト一覧、ホール・関連団体名簿等を掲載。A5サイズになり、よりいっそうコンパクトにリニューアルしました。定価1000円(消費税5%込)。

5月10日 平成24年度事業・会計監査

栗林信介監事、佐藤修悦監事が監査を行い、概ね事業計画に基づき着実に遂行されており規程に則り正しく処理されていることを確認しました。

5月21日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト第1次審査

(財)地域創造の上記事業について、平成26・27年度の登録アーティストのテープ審査を行いました。87組の応募者中27組が合格し第2次審査へ進むことになりました。

5月24日 平成25年度第1回定例理事会、定時会員総会

平成24年度の事業報告・決算報告に続いて、25年度の新法人の事業計画・収支予算が承認されました。今年度は会員向けの事業活動にも力を入れ、アーティストの育成を継続するほか研修会、広報誌、検定制度、共同広告等に新たに取り組めます。また普及事業としてJCF事業とウェブサイトの充実には継続して重点を置き、更に他団体と連携した文化振興に向けた諸活動、企業イベント受託事業を行います。



5月24日 協会ウェブサイトリニューアル

<http://www.classic.or.jp>
協会活動を一層わかりやすくご覧いただけるサイトになりました。頻繁に情報を更新しています。ぜひアクセスください。

6月11日、12日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト第2次審査

(財)地域創造の上記事業について、津田ホールにて実際の演奏とトークによる第2次審査を行い、27組中次の7名が平成26・27年度の登録アーティストとして決定いたしました。

金子三勇士(ピアノ)、森岡有裕子(フルート)、田村真寛(サクソフォン)、高見信行(トランペット)、廣田美穂(ソプラノ)、中井亮一(テノール)、前田啓太(打楽器)

※上記アーティストは今後、協会各社のマネジメント事務所に所属して活動する事となります。

宝くじドリーム館ランチタイムコンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。

4月24日 東京 海野幹雄/チェロ
(新演奏家協会所属)
海野春絵/ピアノ

4月25日 大阪 吉川健一/バリトン
(東京二期会所属)
石野真穂/ピアノ

5月22日 東京 今野尚美/ピアノ
(ミリオンコンサート協会所属)

5月23日 大阪 田村緑/ピアノ
(プロ アルテムジケ所属)

6月26日 東京 河野めぐみ/メゾ・ソプラノ
(日本オペラ振興会所属)
関根操子/ピアノ

6月27日 大阪 磯絵里子/ヴァイオリン
(1002所属)
石原朋子/ピアノ



6/27磯絵里子さん



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,000人、登録曲 2万曲超

『曲』を軸として各種情報へリンクしているオンラインの事典です。
楽曲解説、視聴音源、楽譜、コンサートなど各種情報へアクセスできる、プラットフォームを目指しています。

ピアノ曲事典 検索 www.piano.or.jp/enc/

広告募集中

発行部数:500部

配布対象:協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(7月、10月、1月、4月予定)

料金:1枠(天地58mm×左右92mm)1万円(消費税別)

What's New

会員情報

- [新入会] 正会員 株式会社NHKプロモーション(賛助会員から正会員へ資格変更)
- [退会] 賛助会員 公益財団法人日本音楽教育文化振興会
- [住所変更] 正会員 株式会社音楽事務所サウンド・ギャラリー
新住所:167-0032東京都杉並区天沼3-9-13荻窪SKビル302号
新TEL:03-3398-5631 新FAX:03-3398-5633
- [名称変更] 正会員 (旧)財団法人住友生命社会福祉事業団
↓
(新)一般財団法人住友生命福祉文化財団
- [人事] 正会員 株式会社東急文化村 代表取締役社長 升田 高寛(新任)
- [人事] 賛助会員 あいおいニッセイ同和損保・フェニックスホール 支配人 吉元 晃(新任)
- [人事] 賛助会員 株式会社電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
取締役 兼藤 佳行(新任 非常勤)
取締役 町田 修一(新任 非常勤)
千石義治、伊瀬禎宣、酒巻信知(取締役を退任)
- [人事] 賛助会員 株式会社東朝エージェンシー
代表取締役社長 寺田 徹哉(新任)
取締役 森田 孝幸(新任)
取締役 藤嶋 祥二(新任)
高橋和久(代表取締役社長を退任)、藤掛利明(取締役を退任)
- [人事] 賛助会員 兵庫県立芸術文化センター 副館長 藤村 順一(新任)
- [人事] 賛助会員 三井住友海上しらかわホール 事務局長 玉木 恵二(新任)
- [人事] 賛助会員 一般財団法人ヤマハ音楽振興会
理事 柄澤 康喜(新任)
理事 中田 卓也(新任)
山田和伸、安倍圭子、植村裕之(理事を退任)

※敬称略

今後の活動予定

7月30日～8月1日 地域創造フェスティバル

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストによるプレゼンテーション、セミナー等が行われます。詳細は(財)地域創造<http://www.jafra.or.jp>

9月1日 JCF応募受付開始

6歳から18歳までの若い方をコンサートに無料ご招待! 応募方法等の詳細は協会ホームページにて近日公開。 <http://www.classic.or.jp>

9月3日～4日 公共ホール音楽活性化事業 登録アーティスト研修会

平成26・27年度の登録アーティストを対象に、アウトリーチの基礎知識や同事業の目的・実施方法等についての研修会を行います。

10月11日 関西拡大理事会と関西音楽 記者クラブとの意見交換会

会場 兵庫県立芸術文化センター研修室

①13:30～14:30 関西音楽記者クラブと理事、関西地区会員による意見交換会

②14:45～16:30 拡大理事会(対象:理事・監事・関西地区会員)

宝くじドリーム館 ランチタイムコンサート

7月24日 東京 BLACK BOTTOM BRASS
BAND(セカンドライン所属)

7月25日 大阪 唐津健/チェロ
(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)

9月25日 東京 高木和弘/ヴァイオリン
(音楽芸術家協会所属)

9月26日 大阪 沢崎恵美/ソプラノ
(日本オペラ振興会所属)

10月23日 東京 野尻小矢佳/パーカッション&ボイス
(プレリューディオ所属)

10月24日 大阪 浜まゆみ/マリンバ
(プロ アルテ ムジケ所属)

※11月以降も毎月開催します

リレーエッセイ



専務理事
徳永英樹

クラ協の広報紙発刊にあたり、協会の担当理事としてリレーエッセイの第1回目を引き受けることになりました。

クラシック音楽事業を取り巻く環境面から私が着目する公演として、7月に新国立劇場で開催された「三文オペラ」を取り上げたいと思います。

ご存知の通り、同公演は昨年10月にびわ湖ホールで初演、新国立劇場が全国各地の優れた舞台作品を紹介する「地域招聘公演」(平成17年より開始)として再演されました。公演内容の素晴らしさはもとより、地域で制作された良質な公演が、従来コンテンツを供給する立場であることが多い東京で実演されたことに、大きな意義を感じています。

全国には制作力とやる気に満ちたホールが少なからず存在しており、各地の音楽文化を牽引するフラッグシップとして精力的に活動をされています。また私は約20年にわたって、毎年全国のオーケストラとご一緒させていただいていますが、近年、特にその演奏クオリティが高まってきていることを実感しています。今回の「三文オペラ」のように地域から「発信」する取り組みが、これから全国でもっと積極的に展開されればとても喜ばしいことで、そのためにはダイナミックな連携やネットワークの拡大が必要不可欠です。そのための仕組み作りや機能の一端を担うことも、クラ協の役割の一つではないかと思います。